

第3節 輸出貨物情報の登録

貨物情報をシステムに登録し、併せてシステム参加保税地域等に搬入する際に必要な搬入伝票を作成する場合は、この節の定めるところによる。

また、貨物情報がシステムに登録済み又は登録を予定している混載貨物については、混載仕立情報を登録することができる。

1 貨物情報の登録

輸出しようとする貨物を保税蔵置場に搬入する前に、保税蔵置場への搬入予定及び搬入伝票を登録した場合は、次による。

また、事前に「混載仕立情報登録」業務（業務コード：HDF01）により貨物情報が登録されている場合は、当該情報を呼び出すことにより登録することも可能である。

(1) 登録貨物の範囲

貨物情報の登録対象貨物は、システム内保税地域等へ搬入される輸出しようとする貨物並びに積戻ししようとする貨物、システム外の輸出許可済貨物及び積戻し許可済貨物又は仮陸揚貨物とする。

ただし、次に掲げる貨物については、この節による貨物情報の登録対象外とする。

- イ 旅客又は乗組員の携帯品
- ロ 郵便物
- ハ 船（機）用品
- ニ 託送品目録に記載されている託送品
- ホ 関税法第63条（保税運送）に規定する運送の承認を受けた外国貨物
- ヘ 関税法第66条（内国貨物の運送）に規定する運送の承認を受けた内国貨物
- ト 関税法基本通達21-1（2）（外国貨物の仮陸揚の範囲）のハからトまでに掲げる貨物

(2) 登録の単位

AWB番号又はHAWB番号の単位にシステムに登録する。

なお、未ラベル貨物の場合は、システムにより番号が払い出され、当該未ラベル番号単位にシステムに登録される。

(3) 登録の方法

イ 呼出しによる方法

後記3（混載仕立情報の登録）により、システムに登録された混載仕立情報等を利用して貨物情報を登録する場合は、「輸出貨物情報登録呼出し」業務（業務コード：CDB）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、貨物情報が「輸出貨物情報登録呼出し結果情報」（出力情報コード：AAT0020）として応答画面に出力されることから、出力された内容について確認の上、後記ロ（呼出しによらない方法）に準じて追加又は訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。

[1] 搬入予定年月日（「搬入予定年月日＊」欄）

搬入予定年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[2] 搬入予定保税蔵置場（「搬入予定保税地域*」欄）

搬入先の保税蔵置場を保税地域コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[3] 搬入伝票作成要否（「搬入伝票作成要否」欄）

システムにより搬入伝票を作成する場合は、「Y」を入力する。

[4] 航空貨物代理店（「代理店」欄）

入力者が通関業者又は混載業者の場合は、航空貨物代理店の利用者コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[5] 搬入伝票番号（「搬入伝票番号」欄）

システム使用して搬入伝票を作成しない場合は、マニュアルの方法により作成した搬入伝票の番号を入力する。

1桁目から3桁目までは英字、4桁目から7桁目までは英数字での入力が可能である。

なお、システムにより搬入伝票を作成する場合は、入力不可。

※ [6] の項目は、最大 50 欄まで繰り返し入力することができる。

[6] AWB番号（「AWB番号」欄）

貨物のAWB番号、HAWB番号又は未ラベル番号を入力する。

ロ 呼出しによらない方法

「輸出貨物情報登録」業務（業務コード：CDB01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] 搬入予定年月日（「搬入予定年月日」欄）

搬入予定年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[2] 搬入予定保税蔵置場（「搬入予定保税地域」欄）

搬入先の保税蔵置場を保税地域コード（「業務コード集」参照）で必須入力する。

[3] 搬入伝票作成要否（「搬入伝票作成要否」欄）

システムにより搬入伝票を作成する場合は、「Y」を入力する。

[4] 航空貨物代理店（「代理店」欄）

入力者が通関業者又は混載業者の場合は、航空貨物代理店の利用者コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[5] 搬入伝票番号（「搬入伝票番号」欄）

システムを使用して搬入伝票を作成しない場合は、マニュアルの方法により作成した搬入伝票の番号を入力する。

1桁目から3桁目までは英字、4桁目から7桁目までは英数字での入力が可能である。

なお、システムで搬入伝票を作成する場合は、入力不可。

※ 以下 [6] から [23] までの項目は、最大 50 欄まで繰り返し入力することができる。

[6] AWB番号（「AWB番号」欄）

貨物のAWB番号、HAWB番号又は未ラベル番号を必須入力する。

[7] 貨物識別（「識別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
AWB	A
HAWB	H
未ラベル貨物	L

[8] 搬入個数（「個数」欄）

搬入貨物の個数を入力する。

[9] 搬入重量（「重量」欄）

搬入貨物の重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[10] 積込港（「積込」欄）

積込港についてIATAコード（「業務コード集」参照）を入力する。

なお、入力者が航空会社以外の場合であって、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の貨物種別が補完される。

また、入力者が航空会社の場合であって、入力を省略した場合は、入力者の所属空港が補完される。

[11] 仕向地（「DST」欄）

最終仕向地についてIATAコード（「業務コード集」参照）を入力する。

最終仕向地がシステムに登録されていない場合は、「ZZZ」を入力する。

なお、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の仕向地が補完される。

[12] 航空会社（「航空」欄）

「貨物識別」欄に「A」（AWB）を入力した場合は、航空会社コード（「業務コード集」参照）を入力する。

ただし、「貨物識別」欄に「L」（未ラベル貨物）又は「H」（HAWB）を入力した場合は、入力不可。

[13] 混載業（「混載」欄）

「貨物識別」欄に「H」（HAWB）を入力した場合は、混載業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

ただし、「貨物識別」欄に「L」（未ラベル貨物）又は「A」（AWB）を入力した場合は、入力不可。

[14] 代理店営業所（「B. O」欄）

代理店営業所コードを入力する。

なお、入力者が通関業者又は混載業者の場合であって、2欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の代理店営業所が補完される。

また、入力者が航空貨物代理店の場合であって、入力を省略した場合は、あらかじめシステムに登録されている代理店営業所が補完される。

[15] 通関依頼先（「通関」欄）

通関依頼先を通関業者の利用者コード（「業務コード集」参照）で入力する。

不明の場合は、「UNK」を入力する。

「貨物種別」欄に「T」（システム外許可済（一般）貨物）、「K」（仮陸揚貨物）又は

「O」（システム外許可済（積戻し）貨物）を入力した場合は、「UNK」のみ入力可能である。

[16] 輸出申告予定年月日（「申告日」欄）

輸出申告を行う予定年月日を西暦（8桁）で入力する。

「貨物種別」欄に「T」（システム外許可済（一般）貨物）、「K」（仮陸揚貨物）又は「O」（システム外許可済（積戻し）貨物）を入力した場合は、入力不可。

[17] MAWB番号（「MAWB番号」欄）

「貨物識別」欄に「H」（HAWB）を入力した場合は、MAWB番号を入力する。

[18] 貨物種別（「種別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
一般未通関貨物	N
システム外許可済（一般）貨物	T
積戻し未通関貨物	R
システム外許可済（積戻し）貨物	O
仮陸揚貨物	K

[19] 総個数（「総個数」欄）

貨物の総個数を入力する。

総個数が不明の場合は、「*」を入力する。

[20] 総重量（「総重量」欄）

貨物の総重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[21] 許可・承認等番号（「E/D番号」欄）

輸出許可番号、保税運送承認番号又は仮陸揚届受理番号を入力する。

「貨物種別」欄に「N」（一般未通関貨物）を入力した場合は、入力不可。

[22] 特殊貨物記号（「SPC」欄）

特殊貨物の場合は、SPC（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）を入力する。

[23] 品名（「品名」欄）

「SPC」欄を入力した場合は、貨物の品名を必須入力する。

(4) 出力情報

前記(3)（登録の方法）により、「搬入伝票作成要否」欄に「Y」を入力した場合は、入力者に「搬入伝票情報」（出力情報コード：AAT0040）が配信される。

2 貨物情報の訂正又は削除

システムに登録されている貨物情報を訂正又は削除する場合は、次による。

また、登録済みの貨物情報を訂正し、併せて搬入伝票の再作成を行うことも可能である。

(1) 貨物情報の訂正

イ 呼出しによる方法

「輸出貨物情報訂正呼出し・削除」業務（業務コード：CDD）を利用して、「搬入伝票番号」欄に訂正対象の貨物情報が登録されている搬入伝票番号を入力し送信することにより、貨物情報が「輸出貨物情報訂正呼出し結果情報」（出力情報コード：AAT0050）として応答画面に出力されることから、出力された内容について確認の上、後記ロ（呼出しによらない方法）に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。

ロ 呼出しによらない方法

「輸出貨物情報訂正」業務（業務コード：CDD01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] 搬入予定年月日（「搬入予定年月日」欄）

保税蔵置場への搬入予定年月日を西暦（8桁）で必須入力する。

[2] 搬入予定保税蔵置場（「搬入予定保税地域」欄）

搬入先の保税蔵置場の保税地域コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[3] 搬入伝票作成要否（「搬入伝票作成要否」欄）

システムにより搬入伝票を作成する場合は、「Y」を入力する。

[4] 航空貨物代理店（「代理店」欄）

入力者が通関業者又は混載業者の場合は、代理店の利用者コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[5] 搬入伝票番号（「搬入伝票番号」欄）

搬入伝票番号を入力する。

※ 以下 [6] から [24] までの項目は、最大 50 欄まで繰り返し入力することができる。

[6] 処理識別（欄名なし）

次の区分に応じたコードを入力する

区 分	コード
登録	（入力しない。）
処理対象外	X
処理対象外（DB論理矛盾の貨物（注）又は、特例輸出貨物の場合）	*

（注）DB論理矛盾の貨物とは、輸出貨物情報DBに存在するものの、本業務では訂正することができない貨物。

[7] AWB番号（「AWB番号」欄）

貨物のAWB番号、HAWB番号又は未ラベル番号を入力する。

[8] 貨物識別（「識別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
AWB	A
HAWB	H
未ラベル貨物	L

[9] 搬入個数（「個数」欄）

搬入貨物の個数を入力する。

[10] 搬入重量（「重量」欄）

搬入貨物の重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[11] 積込港（「積込」欄）

積込港の I A T Aコード（「業務コード集」参照）を入力する。

[12] 仕向地（「D S T」欄）

最終仕向地の I A T Aコード（「業務コード集」参照）を入力する。

なお、最終仕向地がシステムに登録されていない場合は、「Z Z Z」を入力する。

[13] 航空会社（「航空」欄）

「識別」欄に「A」（AWB）を入力した場合は、航空会社コード（「業務コード集」参照）を入力する。

「識別」欄に「L」（未ラベル貨物）又は「H」（HAWB）を入力した場合は、入力不可。

[14] 混載業（「混載」欄）

「識別」欄に「H」（HAWB）を入力した場合は、混載業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

「識別」欄に「L」（未ラベル貨物）又は「A」（AWB）を入力した場合は、入力不可。

[15] 代理店営業所（「B. O」欄）

入力者が通関業者又は混載業者の場合は、代理店営業所コードを必須入力する。

[16] 通関依頼先（「通関」欄）

通関依頼先の通関業者の利用者コード（「業務コード集」参照）を入力する。

不明の場合は、「UNK」を入力する。

「種別」欄に「T」（システム外許可済（一般）貨物）、「K」（仮陸揚貨物）又は「O」（システム外許可済（積戻し）貨物）を入力した場合は、「UNK」のみ入力可能である。

[17] 輸出申告予定年月日（「申告日」欄）

輸出申告を行う予定年月日を西暦（8桁）で入力する。

[18] MAWB番号（「MAWB番号」欄）

「識別」欄に「H」（HAWB）を入力した場合は、MAWB番号を入力する。

[19] 貨物種別（「種別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
一般未通関貨物	N
システム外許可済（一般）貨物	T
積戻し未通関貨物	R
システム外許可済（積戻し）貨物	O
仮陸揚貨物	K

[20] 総個数（「総個数」欄）

貨物の総個数を入力する。

[21] 総重量（「総重量」欄）

貨物の総重量を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[22] 許可・承認等番号（「E/D番号」欄）

輸出許可番号、保税運送承認番号又は仮陸揚届受理番号を入力する。

[23] 特殊貨物記号（「SPC」欄）

特殊貨物の場合は、SPC（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）により入力する。

[24] 品名（「品名」欄）

特殊貨物の場合は、貨物の品名を必須入力する。

(2) 貨物情報の削除

「輸出貨物情報訂正呼出し・削除」業務（業務コード：CDD）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] 搬入伝票番号（「搬入伝票番号」欄）

入力不可。

[2] 貨物識別（「貨物識別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

区 分	コード
AWB	A
HAWB	H

[3] AWB番号（「AWB番号」欄）

貨物情報を削除する貨物に係るAWB番号又はHAWB番号を入力する。

(3) 出力情報

前記(1)（貨物情報の訂正）により、「搬入伝票作成要否」欄に「Y」を入力した場合は、登録者に「搬入伝票情報」（出力情報コード：AAT0040）が配信される。

3 混載仕立情報の登録

混載業者が、混載仕立情報（MAWBとHAWBの関連付け情報）をシステムに登録する場合は、次による。

なお、本業務でシステムに登録された混載仕立情報は、「輸出貨物情報登録呼出し」業務（業務コード：CDB）等で利用可能である。

(1) 呼出しによる方法

「混載仕立情報登録呼出し」業務（業務コード：HDF）を利用して、次の事項を入力し送信することにより、システムに登録された輸出貨物情報が「混載仕立情報登録呼出し結果情報」（出力情報コード：AAT0220）として応答画面に出力されることから、出力された内容について確認の上、後記(2)（呼出しによらない方法）に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し

送信する。

[1] 処理区分（「処理区分＊」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
HAWB単位	H
MAWB単位	M
仕向地単位	D
MAWB情報の強制訂正	F

[2] MAWB仕向地（「仕向地」欄）

「処理区分＊」欄に「D」（仕向地単位）を入力した場合は、仕向地のIATAコード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

「処理区分＊」欄に「D」（仕向地単位）以外を入力した場合は、入力不可。

[3] MAWB番号（「MAWB番号」欄）

「処理区分＊」欄に「M」（MAWB単位）又は「F」（MAWB情報の強制訂正）を入力した場合は、MAWB番号を必須入力する。

「処理区分＊」欄に「H」（HAWB単位）又は「D」（仕向地単位）を入力した場合は、入力不可。

※ 以下[4]及び[5]の項目は、最大30欄まで繰り返し入力することができる。

[4] 処理対象外表示（欄名なし）

「処理区分＊」欄に「H」（HAWB単位）を入力した場合であって、当該HAWBを処理対象外とする場合は、「X」を入力する。

「処理区分＊」欄に「H」（HAWB単位）以外を入力した場合は、入力不可。

[5] HAWB番号（「HAWB番号」欄）

「処理区分＊」欄に「H」（HAWB単位）を入力した場合は、HAWB番号を入力する。

「処理区分＊」欄に「H」（HAWB単位）以外を入力した場合は、入力不可。

(2) 呼出しによらない方法

「混載仕立情報登録」業務（業務コード：HDF01）を利用して、次の事項を入力し送信する。

[1] MAWB仕向地（「仕向地＊」欄左）

MAWBの仕向地のIATAコード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

なお、MAWBの仕向地がシステムに登録されていない仕向地の場合は、「ZZZ」を入力する。

[2] MAWB番号（「MAWB番号＊」欄）

MAWB番号を入力する。

[3] 航空会社（「航空会社」欄）

MAWB番号により取扱航空会社が判定できない場合は、航空会社コード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[4] 積込港（「積込港＊」欄）

MAWB番号により積込港が判定できない場合は、IATAコード（「業務コード集」参照）を必須入力する。

[5] ジョイント表示（「ジョイント表示」欄）

ジョイント混載の場合は、「Y」を入力する。

※ 以下 [6] から [12] までの項目は、最大 30 欄まで繰り返し入力することができる。

[6] 処理識別（欄名なし）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

区 分	コード
登録・訂正	(入力しない。)
取消	C
削除	D
処理対象外	X

[7] HAWB番号（「HAWB番号」欄）

HAWB番号を入力する。

処理対象外の場合は、入力を要しない。

[8] HAWB仕向地（「仕向地」欄）

登録又は訂正の場合は、必須入力する。

なお、HAWBの仕向地がシステムに登録されていない仕向地の場合は、「ZZZ」を入力する。

また、2 欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の仕向地が引き継がれる。

[9] 仕立個数（「仕立個数」欄）

登録又は訂正の場合は、仕立個数を入力する。

[10] 仕立重量（「仕立重量」欄）

登録又は訂正の場合は、仕立重量を入力する。

なお、小数点以下第 1 位まで入力することができる。

[11] 品名（「品名」欄）

登録又は訂正の場合は、品名を入力する。

なお、2 欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の品名が引き継がれる。

[12] 貨物種別（「貨物種別」欄）

次の区分に応じたコードを入力する。

なお、2 欄目以降の入力を省略した場合は、上位欄の貨物種別が引き継がれる。

区 分	コード
一般輸出貨物	N
積戻し貨物	R
システム外許可済（一般）貨物	T
システム外許可済（積戻し）貨物	O
仮陸揚貨物	K

4 混載仕立情報の終了登録

前記3（混載仕立情報の登録）により、当該MAWB番号に係る全ての混載仕立情報の登録が終了した場合は、「混載仕立終了情報登録」業務（業務コード：HDE）を利用して、MAWB番号を入力し送信することにより終了登録を行う。